

適用規格																															
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃（注1）		保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）																										
	電 圧	AC 50 V		使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)																										
	電 流	0.5 A		保存湿度範囲																											
性 能																															
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT																								
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○																								
	表示	目視にて確認する。				○	○																								
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）以下で測定する。		70 mΩ以下		○	—																								
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。		100 MΩ以上		○	—																								
	耐電圧	AC 150Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○																								
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		<table><tr><td>芯数</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td><td>80</td><td>100</td><td>120</td><td>140</td></tr><tr><td>差込力 (N以下)</td><td>14</td><td>28</td><td>42</td><td>56</td><td>70</td><td>84</td><td>98</td></tr><tr><td>引抜力 (N以上)</td><td>1.8</td><td>3.5</td><td>5.2</td><td>6.9</td><td>8.6</td><td>10.3</td><td>12</td></tr></table>		芯数	20	40	60	80	100	120	140	差込力 (N以下)	14	28	42	56	70	84	98	引抜力 (N以上)	1.8	3.5	5.2	6.9	8.6	10.3	12	○	—
	芯数	20	40	60	80	100	120	140																							
	差込力 (N以下)	14	28	42	56	70	84	98																							
	引抜力 (N以上)	1.8	3.5	5.2	6.9	8.6	10.3	12																							
繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—																									
耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—																									
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。			○	—																									
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 100 MΩ以上		○	—																								
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 (槽の移し換え時間は2～3分)		③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—																								
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下		○	—																								
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—																								
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格：JIS C 60068)		① コネクタ機能を損なうような腐食がないこと。 ② 接触抵抗：初期からの変化量20mΩ以下		○	—																								
	はんだ耐熱性	【 リフロー 】 ピーク温度 MAX260℃ 220℃以上 60秒以内		外観の変形及び端子などに著しいガタがないこと。		○	—																								
		【 はんだごて 】 こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				○	—																								
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3秒の はんだ付けを行う。		はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。		○	—																									